

# 23矢木地区環境保全推進委員会

「砺波市 矢木地区」

矢木地区は、子どもたちに素晴らしい環境をプレゼントします。

## 地区の概要

- 協定面積：61.1ha  
(田61.1ha)
- 農業用施設  
開水路：27.6km  
農道：2.1km

## 活動組織（構成員）

- 農業関係団体（2団体）
  - ・矢木営農組合21
  - ・矢木生産組合
- その他の団体（10団体）
  - ・矢木自治会 ・婦人部矢木支部
  - ・チューリップ児童クラブ育成会
  - ・水土里ネット庄下地区委員会
  - ・チューリップ母親クラブ
  - ・庄西中学校PTA
  - ・庄下保育所保護者会
  - ・矢木高寿会 ・矢木壮年団
  - ・緑化推進協議会

## 地域が目指している方向

- ・混住化率が75%を超える地域であり、地域資源を農家と非農家が隔たりなく共有すると共に、両者は車の両輪と考え、環境と資源維持保全活動を継続していくため、共同作業の内容と役割分担を明確にして活動を展開していく。
- ・広報「かんきょう矢木」を毎月全戸に配布し、広報を通して活動の推進と各構成組織の活動の様子を紹介し、保全レベルの向上を図ることを目指す。

## 活動組織からの声

- ・子ども達の安全確保のための用水の注意看板の手入れ・補修などを行い、地域の皆さんにとっても喜ばれた。（壮年団）
- ・地域の環境保全意識が高まり、早朝サイクリングや犬の散歩の際に道路や空き地のゴミを拾う人が見られるようになった。（高寿会）
- ・河川施設研修会等を通じ、地域資源保全の大切さに対する理解が深まり、保全活動に積極性が見られるようになった。（自治会）
- ・猛暑の中、植花の水管理や除草に励んだ結果、お盆には赤と白の大輪の芙蓉の花が咲き、景観形成に一役を担いました。（婦人会）
- ・毎月の「環境デー」に合わせ、営農組合員総ぐるみで病害虫の発生抑制と景観形成に励んだ。道路法面の雑草対策、畔草抑制のためのヒメイワダレ草の植栽にも力を入れている。（矢木営農21）

## 活動内容の写真



雑草抑制のためヒメイワダレ草植生



広報「かんきょう矢木」を毎月全戸配布



梅雨前の水路の機能診断



水路の土砂・雑草・藻等の除去



農道法面に芙蓉の植花



遊休地を利用して花壇づくり